

43 カワグチツボ

(ワカウラツボ科)

兵庫県ランク:C

Fluviocingula elegantula

環境省ランク:NT

種の概要

東京湾・東北から九州北部に分布し、淡水の影響する内湾奥部や潟湖、河口汽水域の干潮時に浅場となる泥上やアナアオサやシオグサなどの葉上に生息し、エドガワミズゴマツボ(貝類Cランク)としばしば混生する。殻長4~5mmで細高く、各螺層はよく膨れ縫合は深い。殻頂部は侵食されていることが多く、初生層が浸食していることも少なくない。殻表面には繊細な刻点列状の螺条脈があり、黄褐色または灰褐色の殻皮がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			○	○			△

県内分布

姫路市、たつの市、豊岡市

県内における生息状況及びその他特記事項

AからCに変更。播磨西部の瀬戸内海流入河川と日本海流入河川の円山川の汽水域で確認している。調査時期や年による消長は著しいが、生息が確認できれば多産する。

保護上の留意点

垂直護岸によって急激に深場となる汽水域では生息がほぼ不可能であり、干潮時に極めて浅い緩傾斜の水場ができる干潟を消失させないこと。



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修